

夏の全国知事会議に向けた重点課題(文教・スポーツ常任委員会)

項目 1：学校教育を担う人材の確保に関する取組の充実について

(提案理由)

- ・学校教育を担う優れた人材の確保に向けて、学校が持続的かつ魅力的な組織であり続けるには、教師の長時間勤務の是正と教師不足の解決を図ることが不可欠であることから、国における取組の一層の充実を求める必要があるため。

(提案内容)

- ・学校における働き方改革、通称「給特法」の改正による教師の処遇の抜本的な改善、教職員定数の改善・支援スタッフの充実、「地域枠」を活用した教員養成大学・学部との連携による教員養成など、教師を取り巻く環境整備の一層の充実を求める。

※ 提案の背景

- ・教員の勤務実態は一定程度改善したものの、依然として長時間勤務の教員も多い状況である。
- ・大量退職・大量採用に伴う教師不足の状況も、依然として厳しい状況である。
- ・骨太方針 2023 においては、質の高い公教育の再生に向け、2024 年度からの 3 年間で集中改革期間として位置づけ、2024 年度中の給特法改正案の国会提出が検討されている。
- ・教師を取り巻く環境整備について、昨年 5 月に、文部科学大臣から中央教育審議会に諮問され、本年の春頃に一定の方向性を示すことを目途として、現在、検討が進められている。
- ・教員採用選考の倍率低下や若年層の割合増加という状況が生じており、優れた教師人材の確保などが求められている。

項目 2：高等学校段階におけるデジタル人材育成の抜本的強化について

(提案理由)

- ・昨年 10 月の「デジタル人材育成の抜本的な強化に向けた緊急提言」においてデジタル人材育成の抜本的強化のための複数年度をかけた支援を提言し、高等学校 DX 加速化推進事業(DX ハイスクール)が令和 5 年度補正予算に計上されたが、本事業による全国の普通科、専門学科、総合学科を設置する高校等におけるデジタル人材育成の抜本的強化に向けた学びの変革を実効性のあるものとするためには継続的な財政措置が必要であるため。

(提案内容)

- ・引き続きデジタル人材育成のために必要な環境整備を行うとともに外部専門人材の活用や大学等との連携などを推進するため、高等学校 DX 加速化推進事業(DX ハイスクール)を継続的に実施することを求める。

※ 提案の背景

- ・大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高等学校段階におけるデジタル人材育成の抜本的強化について単年度の予算措置で終わることなく複数年に渡る継続的な支援が必要である。